

2025年度 秋派遣 APU-RU 国内交換留学プログラム募集要項

これから申請を行うにあたり、
大切な情報がこの募集要項に記載されています。

申請を希望する学生は、まず募集要項をよく読み、
内容を十分に理解した上で申請してください。
また、ご不明な点がある場合は、募集要項・オンライン申請
フォームに記載されていない内容に限り、
お問い合わせください。



1. 国内交換留学プログラムについて

このプログラムは、立命館大学(RU)にて、一定数の学生が、1 セメスター期間または 1 年間、交換留学生として在籍し、それぞれの大学の授業を履修する制度です。ただし、秋派遣は 1 セメスターのみの募集です。

<国内交換留学 受入れ大学>

立命館大学(RU: 京都府京都市、滋賀県草津市、大阪府茨木市)

2. 派遣先学部

衣笠キャンパス (KIC)	大阪いばらきキャンパス (OIC)	びわこ・くさつキャンパス (BKC)
京都市	大阪府茨木市	滋賀県草津市
法学部 産業社会学部 国際関係学部 文学部	政策科学部 経営学部 総合心理学部	理工学部 スポーツ健康科学部 経済学部

《注意事項》

以下の学部は現在、募集していません。

生命科学部、薬学部、食マネジメント学部、グローバル教養学部、映像学部、情報理工学部、

3. 派遣期間

- 1 セメスター

※立命館大学 秋派遣は 1 セメスターのみの派遣です。

※派遣決定後の期間変更・延長は認められません。

※一度、国内交換留学(1 セメスター/1 年間)に参加したことがある学生は応募できません。

4. 派遣人数

1 セメスター、募集人数は 10 名以内

※よく倍率についての質問がありますが、倍率は募集時期によって異なります。
詳細な人数等はお答えできません。
募集の上限人数に限らず、申請理由・成績・面接などから総合的に判断します。

※両大学合意の上、前述の人数を越えて受け入れる場合があります。

5. 出願資格

対象：3～6 セメスター生 ※派遣時 4～7 セメスター

※最終セメスターでの留学はできません。

※3 回生編転入生は出願できません。

※2 回生編転入生は、第 4 セメスター在籍時より出願できます。

※すでに派遣されたことがある者は出願ができません。

単位数の条件：修得単位数の合計が前セメスター×14 単位以上

- 出願時 5 セメスター生の場合：4(前セメスター)×14=56 単位以上修得

成績：通算 GPA=2.50 以上

言語運用能力：立命館大学での学修に必要な十分な日本語能力

※必ずしも日本語上級レベルを必要とするわけではありませんが、

授業を受講するうえで日本語上級レベルであることが望ましい(申請は自己判断・選考面接で審査)

6. 学費・その他諸費用

APU の学費を納付します。請求時期、納付締め切りは現行と変更はありません。

派遣先大学の学費は免除されますが、宿舍(寮費など)、その他の諸費用は個人負担になります。

7. 住居

各自で手配

もしくは

大学が運営する寮(衣笠キャンパス・OIC・BKC)

※部屋に空きがある場合のみ。

入居募集は派遣決定後に行います。

※衣笠キャンパスの寮について

複数の寮がありますが、基本的に常盤寮(キャンパスから距離があり)に振り分けられるため、注意が必要

また、住居についてはWEB ページに掲載している国内交換留学経験学生からのアドバイスもぜひご参照ください。

(参考)

立命館大学住居 HP:http://www.ritsumeai.ac.jp/international/intl_students/life_info/

8. 奨学金

APU 減免奨学金(国内・国際)の継続受給については、学業成績が2セメスター連続して継続審査基準を下回ったとき、取消しになります。これは留学期間中も同様です。また、単位数は、留学先で取った単位数そのものではなく、APU で単位認定された後の単位数のみが審査対象となります。留学終了後は、すぐに単位認定の申請を行ってください。

奨学金に関する詳細は、各自でスチューデント・オフィスに問い合わせてください。

9. 履修可能科目および単位数

- 出願した学部が提供する科目以外の受講は、原則認められません。
- 講義科目、および小集団科目の受講を認めます。但し、学部によって定められている受講制限科目があります。開講科目および受講制限については **14. 履修制限について** を参照ください。
- 一部の学部で配当回生の制限があります。
- 英語開講の講義数は学部により異なります。詳しくはシラバスや希望学部の **14. 履修制限について学修要覧***を確認ください。

***学修要覧とは**……学修要覧(がくしゅうようらん)とは、大学が学生に提供する「学びのルールブック」です。その大学・学部で学ぶうえで必要な情報が体系的にまとめられており、卒業に必要な条件や履修のルール、開講される授業の概要及び区分(教養・専門等)が掲載されています。

なぜ APU の学生が RU の学修要覧を見るべきか？



→RUの各学部の学修要覧には、その学部で開講される科目一覧が掲載されています。これを見ることで、初めて「どんな科目があるのか」「その科目は何回生向けか(配当回生)」「どの分野に分類されているか」などの情報を把握できます。

これにより、例えば3回生の自分が1回生向けの授業を選んでいないかといったレベル感の確認ができたり、学びたい内容が別の学部にあることに気づくこともあります。

したがって、RUでの履修計画を立てる上で、学修要覧の確認は非常に重要です。

10. 単位認定

● 単位認定の原則

- 派遣先大学の単位は原則として分野名として認定されます。
- 以下自身のカリキュラムおよび自学部の単位認定方針を参照ください。

※単位認定の詳細については内定後のガイダンスにて説明します。

単位認定方針
2017 カリキュラム・APM
2017 カリキュラム・APS
2023 カリキュラム・APM
2023 カリキュラム・APS
2023 カリキュラム・ST



自分のカリキュラム・
学部をクリックして
よく読んでくださ
い!



- 認定時期

派遣先の履修登録直後に「単位認定見込」希望科目のシラバス提出が必要です。

この申請を基に、留学先での履修科目の認定分野を確認することができます。

留学終了後、「単位認定確認」を経て、APU での履修を開始するセメスターの修正期間 2 に成績に反映されます。詳しくは内定者ガイダンスで説明します。

- 認定単位数

RU で修得した単位は、在学中の全ての単位認定を含め、60 単位を上限として認定します。

原則として、留学先で修得した単位は認定可能です。ただし、APU の開講科目と全く関連性のないもの(体育、芸術など)の単位認定は行われません。

単位認定の上限は APU の履修科目登録上限単位数に準じます。履修登録の単位数に上限はありませんが、APU の単位として認定できるのは、APU でのセメスターごとの「履修登録上限単位数」に準じます。履修バランスも考慮して、計画的に履修してください。以下上限単位数参照。

(例)派遣時に第 5 セメスターの場合 → 履修登録上限:なし。 単位認定上限数:20 単位

ということは、秋セメスターに
 RU で 24 単位分履修登録・
 単位取得はできるけれど、
 APU ではそのうち 20 単位
 しか認定されないということで
 合っていますか？

はい、その通りです。ただし、RU
 の正式な成績証明書には
 24 単位すべてが記載されます。
 APU で認定される単位数の
 上限は、ご自身の配当セメスター
 における履修登録上限単位数に
 準じます。

各セメスター履修登録上限単位数:

1セメスター	2セメスター	3セメスター	4セメスター	5セメスター	6セメスター	7セメスター	8セメスター
18 単位	18 単位	20 単位	20 単位	20 単位	20 単位	24 単位	24 単位
		申請可能期間(3-6 セメスターの間)					
		派遣可能時期 (4-7 セメスターの間)					

- 成績評価

単位認定された科目の成績評価は T 評価(=Transfer)となります。これらは GPA に加算されません。

【卒業までに APU で単位認定できる上限】

T (Transfer) credits:60 単位

(例)海外留学による履修科目の認定、入学前履修科目の認定、言語科目の単位認定、放送大学

11. 演習について

詳細は [APU アカデミックインフォメーションウェブサイト](#)の自身の学部の項目の中にある演習科目(ゼミ)について→2017 カリキュラムまたは 2023 カリキュラム にて各自必要に応じて確認すること。ご不明点がございましたら、アカデミック・オフィス演習担当(seminar1@apu.ac.jp)までお問い合わせください。

12. 募集スケジュール

行程	日程	通知場所
出願期間	2025 年 4 月 14 日(月)～ 2025 年 4 月 23 日(水)14:00	募集開始・まもなく締切の通知: Campus Terminal
書類選考結果発表 及び面接日程通知	2025 年 4 月 30 日(水)	Campus Terminal のあなた宛ての重要なお知らせにて通知
面接期間	2025 年 5 月 15 日(木)～5 月 16 日(金)	オンラインにて実施予定
学内選考発表	2025 年 5 月 21 日(水)	Campus Terminal のあなた宛ての重要なお知らせにて通知

内定者ガイダンスは合格発表時にお知らせします (内定者ガイダンス、派遣前ガイダンス)

※詳細は追って対象者にお知らせします。

13. 出願・選考手続

- 選考(書類審査および面接審査)

言語運用能力、志望理由、成績(GPA)などの提出書類、および面接によって総合的に選考します。

- 申請方法

以下の Step を行ってください。全ての Step を完了しない場合は、申請不備となり受付することができません。注意してください。

[APU 国内留学プログラムのウェブサイト](#)から申請してください。

①募集要項を熟読

②[申し込みサーベイ](#)よりオンライン申請(申請期間にオープン)

・[経費支弁書 \(PDF\)](#)

経費支弁者に、上記リンクより経費支弁書をダウンロード・印刷していただき、直筆で署名をもらってください。その後、申請者本人も署名のうえ申し込みサーベイに提出(アップロード)してください。

ファイル名は「経費支弁書_学籍番号_氏名」としてください。

・[RU 出願書フォーマット](#) (←こちらから様式をダウンロードし、必要事項を記入のうえ、フォームズにアップロード提出してください。)

※出願書の中の履修希望科目の検索方法について

・履修を希望する科目を出来るだけ詳しく記入してください。

(回答例)IR-DR103 国際連合入門

・科目検索については、[こちらのリンク](#)から確認してください。

→ただし、この中には履修制限科目もあるため、詳細は必ず募集要項(14.履修制限について)をご確認ください。

・なお、シラバスを検索の際には→「学外向け」「For Public」を選択→キーワードに「フリーワード」+「%」を入れて検索。例)「行政%」「文化%」など→詳細条件の「学部・研究科」に派遣予定の学部を選択し、「年度・学期」を「2024」と「秋学期」を選択→検索

=注意=

・まだ 2025 年度秋学期の科目は公開されていないため、科目検索をする際は希望学部のなかの2024年度秋学期を参考にしてください。

・記載したものが必ずしも履修できる、開講しているとは限りません。

14. 履修制限について（立命館大学で履修できない科目一覧）

全学部共通制限科目 (履修不可科目)	<ul style="list-style-type: none"> ① 全学副専攻外国語コミュニケーションコース…受講不可 ② 教職課程科目 ③ 外国語科目 ④ 留学生対象の日本語科目 ⑤ 通年科目(通年在籍学生は可能)、小集団科目等の演習科目(学部により一部可能)、夏期集中科目(通年在籍学生は可能)、大学コンソーシアム単位互換科目 ⑥ 所属学部で許可されている他学部受講科目以外の他学部科目 ⑦ 留学プログラム(海外スタディ、異文化理解セミナー等) ⑧ インターンシップ(全学インターンシップ等)
全学部共通制限科目 (一部制限のもと履修可能科目)	教養科目:原則として受講可。ただし、受講登録方法が、抽選科目登録もしくは選考科目登録となっている授業は、定員が設定されているため、正規生の受講登録の結果、定員に空きがある場合のみ受講可。
以下 各学部独自制限科目	
法学部 (学修要覧)  学修要覧はこちら をクリック！	・専門科目…原則として各科目の配当回生に従って受講できる。 <u>ただし、下記科目は受講不可。</u> 「社会に生きる法」(1回生配当) 演習科目(「特修〇〇法」などを含む) 実習関連科目(「公共政策実習」・「法務実習」等) ※ 法学を初めて学修する学生は、1・2回生以上配当の基礎的な科目を履修することを推奨。 ※1年間留学する学生は履修相談を踏まえ、専門演習ⅠⅡ・卒業研究を除く演習科目についても、選考の上、受講を認める場合があります。
経済学部 (学修要覧)	原則として全ての科目の受講を認める。ただし、選考科目および抽選科目は定員に空きがある場合のみ受講可能とする。また、半年間留学する学生は、演習科目の受講は不可とする。(1年間留学する学生は履修相談の中で受講を認める場合もある。) 「リクワイヤード経済学Ⅰ」「リクワイヤード経済学Ⅱ」は受講不可とする。
経営学部 (学修要覧)	原則として全ての科目の受講を認める。ただし、選考科目および抽選科目は受講できない場合がある。また、半年間留学する学生は、「専門演習」が受講不可。(1年間留学する学生は、選考の上、受講が可となる場合があります。)
産業社会学部 (学修要覧)	通年開講科目 <ul style="list-style-type: none"> ・ 基礎演習Ⅰ・Ⅱ:受講不可 ・ プロジェクトスタディⅠA・ⅡA:担当教員が受講を許可した場合に限り受講を認める。 ・ 企画研究:担当教員が受講を許可した場合に限り受講を認める。

	<ul style="list-style-type: none"> ・ゼミナールⅠ・Ⅱ:担当教員が受講を許可した場合に限り、単位にはならないオブザーバー参加のみ認める。 ・ゼミナールⅢ・Ⅳ・卒業研究:受講不可 ・ <p>資格取得の目的のために開講されている以下の科目:受講不可</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子ども社会専攻の「教科教育」の科目と「実習科目」 ・社会調査士プログラム履修者のための科目 ・「社会調査士Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ」、「社会調査情報処理」 ・社会福祉士課程のための科目 ・3回生以上:「ソーシャルワーク演習(専門)Ⅱ」、「ソーシャルワーク実習指導Ⅱ」、「ソーシャルワーク実習Ⅱ」 ・2回生以上:「ソーシャルワーク演習(専門)Ⅰ」、「ソーシャルワーク実習指導Ⅰ」、「ソーシャルワーク実習Ⅰ」「ソーシャルワーク演習」 ・外国語科目:受講不可。必修外国語(12単位)は、部分的な科目の履修は認めない。 ・産業社会学部英語副専攻:受講不可 ・グローバルスタディプログラム:「国際社会入門」のみ受講を認める。その他の科目は受講不可 ・ソーシャルデザインプログラム:「ソーシャルデザイン入門」のみ受講を認める。その他の科目は受講不可 <p>上記の他、一般講義系科目の受講を認める。</p>
<p>国際関係学部 <u>(学修要覧)</u></p>	<ul style="list-style-type: none"> ・選考科目:受講不可とする。 ・専門演習以外の事務室登録科目:受講不可とする。 ・専門演習:受講時に3回生(在学第5セメスター目)以上であることを前提とし、定員に空きのあるクラスのみ事前に課題レポートを提出し選考の結果、受講を許可する。半期の交流学生で希望があった場合は、オブザーバーとしての半期の聴講を認める場合がある(単位認定はしない)。この場合、担当教員が所定の志望理由書をもとに選考を行なったうえで、許可を得ることが条件となる。 <p>※選考科目、事務室登録科目等の分類については、時間割の備考欄を確認してください</p>
<p>政策科学部 <u>(学修要覧)</u></p>	<ul style="list-style-type: none"> ・演習科目:「研究実践フォーラムⅠ・Ⅱ(2回生)」、「政策構想演習Ⅰ・Ⅱ(3回生)」は、希望があれば受講を認める。ただし、担当教員の許可を得ることが条件となる。 ・EPS科目・グローバル言語科目:正規生の受講登録の結果、定員に空きがある場合にのみ受講可。 ・情報技法科目:正規生の受講登録の結果、定員に空きがある場合にのみ受講可。 ・抽選科目登録は、正規生の受講登録の結果、定員に空きがある場合のみ受講可。 ・CRPS専攻(英語基準)の科目を受講したい場合は、受講登録時に別途、

	<p>政策科学部事務室に相談すること。</p> <p>.</p>
<p>文学部 (学修要覧)</p>	<p>○受講可とする科目</p> <ul style="list-style-type: none"> ・基礎科目(一括登録科目のみ受講不可。抽選・選考科目は定員に空きがある場合のみ受講可) ・文学部生全員が受講できる専門科目(抽選・選考科目は定員に空きがある場合のみ受講可) <p>○受講不可とする科目</p> <ul style="list-style-type: none"> ・文学部の各学域・専攻の学生のみ受講できる専門科目 <p>※但し「基礎講読Ⅰ・Ⅱ」と「専門演習Ⅰ～Ⅳ」については、事前申請の上で許可されれば受講可。申請の際は必ず受講を希望するクラスをシラバス等で特定の上で申請すること。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実習科目、人文学特別研修、キャンパスアジア・プログラム科目群、クロスメジャー科目群、英語アドヴァンスト・コース科目群 <p>※但し「クロスメジャー科目」は、「許可者のみ受講可能科目」以外の科目は受講可</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教職課程科目、学芸員課程科目、図書館司書課程科目、学校図書館司書教諭課程科目
<p>スポーツ健康科学部 (学修要覧)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・全学部共通履修制限科目に加えて、下記科目を受講制限科目とする。 <p>○プロフェッショナル・キャリア形成科目 (但し、スポーツ健康科学特殊講義Ⅱ「ハイパフォーマンススポーツの科学」は受講可)</p> <p>○実習科目(コーチング実習科目・身体科学実習科目)</p> <p>○キャリア形成科目のうち下記の科目 「サービスマネジメント(専門)」「インターンシップ(国内)(海外)」「 「クリニカルATインターンシップ(国内)(海外)」「 「インターンシップ(健康運動指導士実習)」</p> <p>○特殊講義のうち下記の科目 「スポーツ健康科学特殊講義Ⅱ」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・定員の定められた科目に関しては、定員に空きのある場合に受講を認める。 ・学部小集団科目である「基礎演習Ⅰ」「基礎演習Ⅱ」「PBLⅠ」「PBLⅡ」に関しては、学部で受講クラスを決定して受講を認める。 <p>同じく学部小集団科目である「専門演習Ⅰ」「専門演習Ⅱ」「専門演習Ⅲ」「専門演習Ⅳ」に関しては、1年間のプログラム学生の場合には、受講可能な基礎知識の有無や定員の空き等を勘案して受講可否を決定する。半期のプログラムの学生の場合には、オブザーバーとして聴講を認める場合がある(単位認定なし)。</p>

<p>理工学部 (学修要覧)</p>	<p>・選考科目および抽選科目は受講できない場合がある。 ・小集団科目、演習、実験、実習等定員の定められている科目は選考の上、受講可否を決定する。</p>
<p>総合心理学部 (学修要覧)</p>	<p>・全学共通履修制限科目に加えて、以下の科目を受講制限科目とする。</p> <p>「健康・医療心理学」「現代人間論」「公認心理師の職責」「行動経済論」 「行動分析学(学習・言語心理学)」「司法・犯罪心理学」「思考心理学」 「児童心理学」「社会心理学概論(社会・集団・家族心理学)」 「障害者・障害児心理学」「色彩論」「心理学概論」「心理学研究法」 「心理学統計法Ⅰ」「心理学統計法Ⅱ」「心理調査法概論」 「心理的アセスメント」「神経・生理心理学」「精神疾患とその治療」 「青年心理学」「組織行動論(産業・組織心理学)」 「総合心理学特殊講義Ⅱ」「総合心理学入門」「中高年心理学」「乳幼児心理学」 「認知行動療法論(心理学的支援法)」「認知心理学概論(知覚・認知心理学)」 「発達心理学概論(発達心理学)」「発達臨床心理学」「福祉心理学」 「文化心理学」「量的研究法」「臨床心理学概論」 「専門英語(心理学)Ⅰ・Ⅱ」「国内フィールドスタディ」「海外フィールドスタディ」 「プロジェクト研究Ⅰ～Ⅵ」「心理学実験Ⅰ・Ⅱ」「臨床・実践演習(心理演習)」 「臨床・実践フィールドワーク(心理実習)」「基礎演習Ⅰ・Ⅱ」「展開演習」「専門演習Ⅰ～Ⅳ」「卒業研究」</p>

15. 問い合わせ

アウトリーチ・リサーチ・オフィス A棟2階

担当：小野(おの)・吉岡(よしおか)

apudsep@apu.ac.jp

【派遣先大学のウェブサイト】

[立命館大学ウェブサイト](#)